

厚生労働科学研究費補助金（がん対策推進総合研究事業）

(R1-がん対策—一般-001) 分担研究報告書

思春期・若年成人 (AYA) 世代がん患者の包括的ケア提供体制の構築に関する研究

分担研究課題：AYA 支援チームのモデル作成に関する研究

研究分担者 石田也寸志 愛媛県立中央病院小児医療センター長

研究要旨 本分担研究では、当院 AYA がん患者支援チームのモデル作成を試みることを目的としている。引き続き院内職員への啓発と共に、造血細胞移植拠点事業で中国・四国の移植病院を対象に妊孕性をテーマに取り上げ、院内リソースのみでは AYA がん患者への対応は困難なことから地域妊孕性温存ネットワーク会議を開催している。がんサポートサイト愛媛に「AYA 世代対がん」に対する支援情報をがんサポート愛媛のホームページ上で提供し、AYA がん情報を広く県民に周知した。

共同研究者（50 音順）

中瀬浩一（愛媛県立中央病院血液腫瘍科）

徳田桐子（同小児科）

武田千津（同がん患者支援）

山下広恵（同外来化学療法室）

青儀健二郎（四国がんセンター乳腺外科）

### A. 研究目的

がん診療拠点病院の整備要綱の「思春期と若年成人 (Adolescent and Young Adult; AYA) 世代)にあるがん患者については治療、就学、就労、生殖機能等に関する状況や希望について確認し、必要に応じて、対応できる医療機関やがん相談支援センターに紹介すること。」に関して、当院の実態を検討し、AYA 支援チームのモデル作成を試みる。

### B. 研究方法

1. 当院の AYA 世代がんの問題点を調査するためスクリーニングシートを作成し、院内でスクリーニング医を始める
2. 院内職員向けに AYA 世代がんの問題に関する啓発活動を行う。
3. 当院を含む愛媛県内のネットワーク形成を試みる。

### C. 研究結果

1. 国立がん研究センターのスクリーニングシートを元に、当院の緩和ケアチームで独自の汎用スクリーニングシートを作成した（資料 1）。当院入院がん患者全てに実施した。
2. 啓発活動：地域連携懇話会とキャンサーボードで AYA がん患者の症例検討を行って問題を共有した。厚生労働省造血幹細胞移植医療整備事業造血幹細胞移植推進拠点病院事業で令和元年第 3 回として中・四国の移植病院を対象に AYA 世代にフォーカスした四国ブロックセミナー（中国ブロックセミナー共催）で妊孕性温存について情報提供の機会を設けた。
3. AYA 世代対応ネットワーク・妊孕性ネットワーク事業を昨年に続き継続して、四国がんセンター、愛媛大学、その他愛媛県内の AYA がんを治療している病院とネットワークを維持している。
  - ①第 2 回ネットワーク会議を開催（2019 年 8 月）。
  - ②第 3 回ネットワーク会議を開催（2020 年 3 月）。—実施予定であったが新型コロナウイルス感染症流行のため延期となった。（資料 2）

4. がんサポートサイト愛媛に「AYA 世代対がん」に対する支援情報をがんサポート愛媛のホームページ上で提供し、AYA がん情報を広く県民に周知した。 <https://e-cip.jp/>

#### D. 考察

厚労省の研究で明らかにされた AYA がん患者のニーズには、多職種理解と連携が必要となるものも多く、院内リソースのみでの対応は困難なものもあるため、愛媛県内で地域ネットワークを形成することを目標に、病院間の連携を継続・発展させる必要性がある。

#### E. 結論

当院の AYA がん患者のスクリーニングを始めニーズの把握に務めるとともに、院内リソースの活用と県内でのネットワーク形成が不可欠である。

#### F. 健康危険情報

なし

#### G. 研究発表

##### 1. 論文発表

1. Ogita M, Sekiguchi K, Akahane K, Ito, R., Haga, C, Arai, S, Ishida, Y, Kawamori, J.: Damage to sebaceous gland and the efficacy of moisturizer after whole breast radiotherapy: a randomized controlled trial. *BMC Cancer*. 2019; 19:125.
2. Eguchi-Ishimae M, Tezuka M, Kokeguchi T, Nagai, K, Moritani, K, Yonezawa, S, Tauchi, H, Tokuda, K, Ishida, Y, Ishii, E, Eguchi, M.: Early detection of the PAX3-FOXO1 fusion gene in circulating tumor-derived DNA in a case of alveolar rhabdomyosarcoma. *Genes Chromosomes Cancer*. 2019; ; 58:521-529.
3. Daida, A, Yoshihara H, Inai, I, Hasegawa D, Ishida Y, Urayama KY., Manabe A (2019) Relationship between Sedative Antihistamines and the Duration of Febrile Seizures *Neuropediatrics* (in Press)
4. Minako Iida, Nakasone H, Yamashita T, Inoue M, Ishida Y, Uchiyama H, Katayama Y, Miyamoto T, Yoshioka S, Shiratori S, Mori T, Sawa M, Sugio Y, Fukuda T, Ichinohe T, Atsuta Y, Inamoto Y (2019) Late mortality and causes of death among long-term survivors after autologous hematopoietic stem cell transplantation. *Blood Cell Therapy* (In Press)
5. 石田也寸志：小児・若年成人世代の骨・軟部肉腫の晩期合併症。 *日本整形外科学会雑誌* 2019, 93(7):472-483.
6. 岩橋円香, 徳田桐子, 手束真理, 石田也寸志: 再寛解導入療法中に肺動脈血栓症を発症した急性リンパ性白血病例. *日本小児血液・がん学会雑誌*. 2019; 56:46-49.
7. 深草元紀, 市川由香, 河津晶, 石田也寸志, 増田勝紀: 日本人の宿泊人間ドック受診者における肺年齢の経年的変化. *総合健診*. 2019; 46:214.

##### 2. 学会発表

1. 石田也寸志 (2019) 移植後の小児の QOL 第 41 回日本造血細胞移植学会会長シンポジウム 2019/3/8、大阪、口演
2. Ishida, H, Sarashina, T, Matsumura, R, Umeda, K, Mitsui, T, Fujita, N, Tomizawa, T, Urayama, UK, Ishida, Y, Taga, T, Takagi, M, Adachi, S, Manab, A, Imamura, T, Koh, K, and Shimada A (2019) Clinical Features of Children with Polycythemia Vera, Essential Thrombocythemia, and Primary Myelofibrosis in Japan: Retrospective Nationwide Survey. *ASH 2019*(第 61 回米国血液学会議), 12 月、オランダ、ポスター発表
3. Aoki, Y, Hayakawa, A, Koike, K, Tauchi, H, Ishii, E, Koh, K, Miyamura, T, Ishida, Y, Kada, A, M Saito, A, Manabe, A, Horibe, K, Mizutani, S, Maeda, M and Tomizawa, D (2019) Late Effects in Survivors of Infant Acute Lymphoblastic Leukemia from the 3 Consecutive Japanese Nationwide Clinical Trials. *ASH 2019*(第 61 回米国血液学会議) 12 月、オランダ、ポスター発表
4. 石田也寸志, 上別府圭子, 佐藤篤, 井上雅美, 早川晶, 塩原正明, 矢部普正, 小池和俊, 足立壮一, 熱田由子, 山下卓也, 神田善伸, 岡本真一郎 (2019) 小児期造血幹細胞移植後長期生存例における QOL の予測因子—NCI 慢性 GVHD 重症度と Karnofsky スコアの重要性. 第 41 回日本造血細胞移植学会 3 月、大阪、口演
5. 佐藤篤, 石田也寸志, 大城怜, 中嶋祥平, 井上雅美, 早川晶, 塩原正明, 大島久美, 黒澤彩子, 熱田由子, 山下卓也, 神田善伸, 岡本真一郎 (2019) 小児期同種造血幹細胞移植後長期生存例における思春期以降 QOL の検討～成人 QOL 研究との比較～. 第 41 回日本造血細胞移植学会 3 月、大阪、口演
6. 早川晶, 佐藤伊織, 石田也寸志, 井上雅美, 佐藤篤, 塩原正明, 矢部普正, 小池和俊, 足立壮一, 熱田由子, 山下卓也, 神田善伸, 岡本真一郎 (2019) 小児期同種造血細胞移植後長期生存者の QOL の検討～慢性 GVHD の

臓器別の影響および評価者による相違～.  
第41回日本造血細胞移植学会 3月、大阪、  
口演

7. Hangai, M, Kawaguchi T, Takagi M, Mastuo K, Hori T, Ishida Y, Ohara A, Mzutani S, Koh K, Mtsuda F, Manabe A, Urayama K(2019) 日本人小児急性リンパ節白血病の発症リスクに関するゲノムワイド関連解析(東京小児がん研究グループ). 第61回日本小児血液がん学会、11月、広島、口演
8. Hayakawa A, Nogami Y, Koike K, Tauchi H, Ishida E, Koh K, Miyamura T, Ishida Y, Saito A, Horibe K, Manabe A, Maeda M, Tomizawa D (2019) 乳児急性リンパ性白血病長期生存者における晩期合併症調査: JPLSG MLL96/98 試験、JPLSG MLL03 試験. 第61回日本小児血液がん学会、11月、広島、口

演

9. Miyoshi Y, Higuchi A, Suzuki T, Isoyama K, Kawai Y, Tatara R, Tokunaga E, Ishida, Y, Iguchi M, Suzuki N, Kiyotani C, Ozawa M, Ymamoto K, Ishida Y, Horibe K, Shimizu C (2019) AYA 世代がん患者の長期フォローアップに関する多施設パイロット研究. 第61回日本小児血液がん学会、11月、広島、口演

#### G. 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得: 該当なし
2. 実用新案登録: 該当なし
3. その他: 該当なし